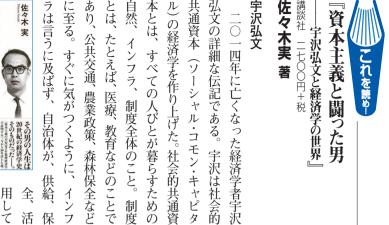
## 月自治研 5 2019 vol.61 no.716

グラビア	地域を支える人 紺野安彦さん 佐竹謙太さん・福島	市	1
発掘!地域の 希望のタネ	奈良県橿原市〈歴史に憩う橿原市博物館〉		5
給食のじかん	〈黒はんぺんのカレー揚げ・かつお角煮〉静岡県焼	建市 森田靖司	$\epsilon$
書評	佐々木実著『資本主義と闘った男』	菅原敏夫	8
焦点	一○連休特別法と働き方改革	中野麻美	10

## 外国人労働者との共生をめざして

ルポ	「移民ネグレクト」に終止符を 泥縄式の「労働開国」に懸念も	坂本信博	18
インタビュー	外国人なしでは回らない社会の到来 一覚悟を持った社会システムの変革を	田中 宏	26
	生活支援と権利保障は進むのか 一ゆがんだ移民政策がもたらす、外国人医療の危機	大川昭博	33
	農業分野における 外国人労働力調達への誤解と支援のあり方	軍司聖詞	39
	介護現場を支える外国人労働者の現状と課題	平井辰也	47
	自治体は外国人支援にどう向き合うべきか 一多文化共生総合相談ワンストップセンター開設の課題	新居みどり	53
地域の声を 届けたい	●改正入管法を考える	岸まきこ	60
各県自治研 活動レポート	自治労千葉県本部政策部会の取り組み — 千葉県本部	中町康人	62
連載	『月刊自治研』を読む〈第四季〉 ⑤ 地方議会に候補者を つくり出すために	篠田 徹	64
	自治研センターの機関誌案内		71
	次号予告・編集部から		72





りであ

示し、自治体に働く意味を再確認するも 会的共通資本の理論は、

## 自治労での研究会など

行われた (宇沢は米子出身)。 会(米子自治研)では宇沢の記念講演が ようとしてきた。九八年の全国自治研集 の講演を直接聞いた。 れているし、労働組合もそれを受け止め りがあった。 だから、宇沢は自治労とも深いか 本書にもその一端が述べら 書評子もそ

ぼっちでした」とはお連れ合いの、 よ。日本にはいないし、海外にもいない と著者に問われて、宇沢は「いないんだ る。宇沢経済学の後継者は?伴走者は? の伝記の最終章の結論は切ないものであ んだよ」と答えている。「宇沢は、ひとり が亡くなった後の感想だ。 そんなことはない。経済学界が間違え 現在もこれほど影響が大きいのに、こ

供給、 インフ

続けているだけだ。 自分なりのやり方で

自治体の指針を

薦めする。全一八章立て、

六三八ページ。

連休を使ってお読みになることをお

経済学の世界

自然と社会の公正かつ持続可能性を追求 さんいる。経済学にいないだけだ。 宇沢を引き継いでいる人びとはたく

己否定になってしまう。 うと、宇沢は主流派の経済学をこてんぱ 登場する言葉ではないが、宇沢を評する ることは、ノーベル経済学賞の歴史の自 んにやっつけてしまった。宇沢が受賞す ル賞なんて来ない。もう少しまじめに言 だって、「資本主義と闘った男」にノーベ の言葉で、宇沢を語るのはもうやめよう。 にしばしば用いられる言葉だ。でも、こ とも近かった日本人」とある。本文中に もしこの小文を連休前にご覧になった 本書の帯に「ノーベル経済学賞にもっ

れ以上の過ごし方を思いつかない。 連休の半分は潰れてしまうだろうが、